

初めてのICT活用工事で未来の建設現場へ一歩前進！

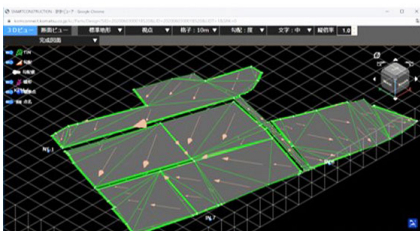
現場がどのように変わるのか
ICT活用工事に興味津々！

■■現場詳細■■

鹿児島県出水郡長島町浜渡
畑地帯総合整備事業（担い手育成型）
浜渡仁田原地区1-5工区
耕作地の圃場整備工事
【施工範囲】3,000m²
【施工土量】基盤の切盛2,400m³
運搬1,400m³/押土1,300m³
【ソリューション】
スマートコンストラクションアプリ
【ICT建機】PC200i/D37PXi

■■導入経緯■■

（株）長崎組 工務部 山崎智和さん
今回は耕作地の圃場整備工事の現場で、
当社としては初めてのICT活用工事でした。
かねてよりICT活用工事の講習会など
にも積極的に参加し、ICT技術を導入
することで施工全体にどのような変化を
もたらすのか、とても興味がありました。
実際に使ってみなければその効果を実感
することはできませんし、社内での実績
がなかったため当現場を担当すると決ま
った時に、今後ステップアップしてい
くためにも先陣を切ってやるんだ！と
の強い思いから、導入に至りました。



工務部 山崎智和さん

鹿児島県
（株）長崎組 様

【設立】昭和48年1月

顧客の信用を第一として、
誠実、創意、熱意の理念のもと、
高い評価を得られる構築物を提供する。

掲載月:2021年2月

管理工数の削減と
安全性向上を実感！

■■導入効果■■

（株）長崎組 工務部 山崎智和さん
今回の現場にICT建機を導入したことで、
丁張り設置作業や施工中の高さ確認
作業、管理工数を大幅に削減することが
できました。

従来では、畦畔だけでなく畑の勾配で丁
張りを出す必要があり、約半月～1カ月
は丁張り作業に追われることになってい
たと思います。法面整形工では施工箇所
ごとに細かく丁張りを出す必要があり、
それを目視しながらの作業ではとても工
数がかかっていたので、丁張り設置の工
数が削減され大変助かりました。また、
ICT建機には3次元設計データが取り
込まれているのでオペレータがICT建
機内のモニタ画面を見ながら一人で施
工することができ、重機周辺で作業する
手元作業員が不要になったことで接触リ
スクも減り、現場の安全性も向上しまし
た。

今回が初めてのICT活用工事で大変な
部分もありましたが、施工管理がとても
楽になり、使ってみて本当に良かったと
思います。次は道路工事でICT技術を
活用し、今回使いきれなかった色々な機
能を使ってみたいですね。

